



二葉だより

令和5年10月31日 NO.7

墨田区立二葉小学校

校長 山崎 隆



二葉まつりの昔と今、そして未来へ

副校長 柴田 拓

本校に着任して早いもので7か月が過ぎようとしています。子供たちからも声を掛けてもらうことが増え、二葉小学校の輪に入れてきたかなと感じています。同時に二葉の子供たちの心の温かさも感じています。長かった夏がようやく終わりを告げ、季節も少しずつ進み、だいぶ過ごしやすくなりました。休み時間には子供たちの元気な声が聞こえてきます。「運動の秋」「食欲の秋」ともいいますのでたくさん運動して、たくさん食べて心身ともに大きく成長してほしいと思っています。

さて、11月25日の土曜日は「二葉まつり」があります。今は5・6年生の代表委員会が中心となって進め方を計画中です。「まつり」と聞くと御神輿や山車を想像する人もいれば出店やゲームなどを想像する人もいます。私が今まで勤務していた学校でも「〇〇まつり」と題して各学級が創意工夫を凝らしたゲームや迷路などを考え、みんなで楽しむとても素敵な行事でした。しかし、本校の「二葉まつり」がどのようなものなのか私自身、よく分かっていませんでした。そこで、これを機に二葉まつりの歴史を紐解いてみることにしました。

「二葉まつり」が始まる前年、1976年(昭和51年)に現在の4階建て校舎が完成しました。その翌年、1977(昭和52年)に校庭の舗装工事が終わり、校庭が完成しました。そのお祝いに「二葉まつり」が始まりました。昇降口にはまつりを盛り上げる大きな看板とちょうちん。子供たちは御神輿を作り、地域を練り歩いたそうです。他にも踊りやひとつばたご(歌)、二葉ばやしで開校記念日をお祝いしたそうです。特に二葉ばやしは今でも引き継がれ、学校を支えてくれている6年生が演奏してくれています。コロナ禍を経て今年はコロナ前と同じような形で行います。

今まで培ってきた二葉まつりを大切にしつつ、子供たちとともに作り上げる新たな二葉まつりが全校児童の素敵な思い出になるように教職員が一丸となって取り組んでいきます。そして子供たちの心の中に二葉まつりが素敵な思い出となってくれたら幸いです。また、子供たちがこのような経験を経て学校・学級への帰属意識を高めていってくれることを期待しています。11月は「ふれあい月間」もあります。「いじめは絶対に許されない」をモットーに子供たち同士がお互いを認め合い、互いに思いやれるようなより良い人間関係を築けるように指導して参ります。体育館の解体工事も着々と進んでいます。いろいろと制限がある中ですが、子供たちがより充実した学校生活を送れるように支援していきますので今後ともご協力よろしくお願いします。



秋空高く ちょうちんの誓い



待ちに待った 二葉まつり



みこしでワッショイ(6年)

行事予定

<11月>

<12月>

1	水	午前授業	1	金	安全指導 薬物乱用防止教室6
2	木	安全指導 交通安全教室5	2	土	
3	金	文化の日	3	日	
4	土		4	月	委員会活動⑧
5	日	東京都教育の日	5	火	オーケストラ鑑賞教室56
6	月	新・チャレンジ教室I	6	水	
7	火		7	木	個人面談
8	水	午前授業	8	金	個人面談
9	木		9	土	いじめ防止授業地域公開講座
10	金		10	日	
11	土		11	月	個人面談 新・チャレンジ教室I 交通安全教室6
12	日		12	火	個人面談 亀沢保育園交流
13	月	新・チャレンジ教室I	13	水	色覚検査4 午前授業
14	火	生活科見学2	14	木	個人面談
15	水	異学年交流活動	15	金	個人面談
16	木	午前授業	16	土	
17	金	社会科見学4	17	日	
18	土		18	月	クラブ活動⑦ 避難訓練
19	日		19	火	社会科見学3
20	月	クラブ活動⑥	20	水	
21	火		21	木	午前授業
22	水		22	金	給食終 大掃除
23	木	勤労感謝の日	23	土	
24	金		24	日	
25	土	土曜授業 二葉まつり	25	月	冬休み前朝会 午前授業
26	日		26	火	冬季休業日始
27	月	開校記念日 新・チャレンジ教室I 二葉まつり予備日 避難訓練(起震車)	27	水	閉庁日
28	火		28	木	
29	水		29	金	
30	木		30	土	
			31	日	

プラネタリウム見学を終えて

4年担任 荒井 輝

4年生は、9月にプラネタリウム見学に行きました。入学して以来、初めての公共交通機関を使った校外学習でした。事前に、公共交通機関を使うためのマナーをよく確認して、当日を迎えました。

電車では、降りる人が降りやすいようにドアの前を空けたり、私語を慎んだりして、周りの人たちに気配りをする子供たちの姿が見られました。また、駅のホームでは、子供たち同士で声をかけ合い、迅速に整列することができました。

11月には社会科見学があります。これまでに学習した交通マナーや集団行動の仕方を生かして、実りのある学習になるよう、学年一同支援していきます。

教科担任制の取組

教務主任 松原 大樹

推進校の指定を受けて3年目を迎えました。先日、10月24日(火)に、国立オリンピック記念青少年総合センターにて報告会がありました。そこでは、中学校籍の加配教員である理科専科の古市が、都内の教員に向けて成果発表を行いました。中学校と一貫性のある学習指導や児童とともに学ぶ教師の姿勢が大切であることを、本校の成果として発表させていただきました。

これまで「学級担任」という意識が強かった私は、この3年間で「学年の担任」という意識が強くなりました。また、各教科担任と児童の姿を共有する機会も増えました。一人一人の児童を、より多くの教員が見守り、育てていくことこそが、本取組の本質なのではないかと考えています。

小学校文化と中学校文化にはそれぞれの良さや課題があります。その両方を知る古市が本校に着任したことで、小学校籍の私たちは「同僚」からたくさんの方の姿を学ぶことができました。

11月の生活目標

友達のよいところを見つけよう

生活指導主任 鈴木 貴大

先日、代表委員会が作成したあいさつを励行する動画に出演し、児童のみなさんに『あいさつを通して、あたたかな人間関係をつくってほしい』という話をしました。

あいさつはもちろん、親切な行為や、学級の仕事をすすんで行うことなど、クラスメイトのよいところをたくさん見付けて伝え合い、あたたかな人間関係をつくってほしいです。

スクールカウンセラー来校日(11月)

小川先生 7日、14日、21日、28日

海老原先生 8日、15日、29日

横山先生 10日、17日、24日

ひとつばた子広場(11月) 12日